

# P T A主催夏季英国語学研修

## 1 日程

令和元年7月22日（月）～8月5日（月）

## 2 研修先

イギリス・ケンブリッジ

Faculty of law, University of Cambridge, Abbey College

## 3 参加者

1年生17名, 2年生4名 計21名（引率教諭1名）

## 4 旅程表

日次	月/日(曜)	現地時間	スケジュール
1	7/22 (月)	午後	広島駅～関西空港～ドバイ空港～ヒースロー空港
2	7/23 (火)	午前 午後	ヒースロー空港からケンブリッジへ 到着後, オリエンテーション タクシーでホームステイ先へ
3	7/24 (水)	午前 午後	アビーカレッジのクラス分けのテスト 英語レッスン ケンブリッジ散策 ケム川下り・キングスカレッジチャーチ見学
4	7/25 (木)	午前 午後	英語レッスン イーリー大聖堂・オリパークロムウェル生家 見学
5	7/26 (金)	午前 午後	英語レッスン プレゼンテーションワークショップ ケンブリッジ散策
6	7/27 (土)	終日	ロンドン観光 ナショナルギャラリー・バッキンガム宮殿・ ダウニング街・パーラメントスクエア等
7	7/28 (日)	午前 午後	オックスフォード観光 クライストチャーチ見学及び周辺散策
8	7/29 (月)	午前 午後	英語レッスン(アビーカレッジ) ケンブリッジ散策
9	7/30 (火)	午前 午後	英語レッスン(アビーカレッジ) シェブレス・ワイルドライフ・パーク見学
10	7/31 (水)	午前 午後	英語レッスン(アビーカレッジ) セジウィック地球科学博物館見学
11	8/1 (木)	午前 午後	英語レッスン(アビーカレッジ) 学生バディとディスカッション フィッツウィリアムズ博物館見学
12	8/2 (金)	午前 午後	英語レッスン(アビーカレッジ) ケンブリッジ散策
13	8/3 (土)	終日	ロンドン観光 ロンドン自然史博物館見学 インペリアルカレッジキャンパスツアー 大英博物館見学
14	8/4 (日)	午前 深夜	ヒースロー空港～ドバイ空港～関西空港
15	8/5 (月)	午後	関西空港から広島駅へ

## 5 研修の概要

本年度のPTA主催夏季英国語学研修では、生徒はケンブリッジにホームステイしながら、1週目はケンブリッジ大学の教室で、2週目はアビーカレッジで他国から来ている留学生たちと一緒に英語の授業を受けました。

1週目の授業では、全員が一つのクラスでジュリアン先生の授業を受けました。ジュリアン先生は以前日本で英語を教えておられた経験もあり、日本語の文法用語を時折交えながら大変わかりやすい授業をしてくださいました。会話で使えるフレーズや、日本人がよくしてしまう文法上の間違い、また表現が広がるような形容詞の使い方など、実際にホストファミリーと話す際に非常に役に立つ表現を教えてくださいました。また、活動の中にたくさんのゲームを取り入れてくださり、生徒たちは最後まで楽しく英語を学ぶことができました。

2週目の授業はアビーカレッジに場所を移し、中国人、イスラエル人、イタリア人等の留学生たちとそれぞれクラスに分かれて授業を受けました。英語が母国語ではない他国の学生たちと意思疎通をするのは一苦労でしたが、最後には打ち解けて話をする姿も見られました。カレッジのおいしい昼食も生徒たちにはかなり好評で、午前中に緊張感の中で格闘した後の昼食が楽しみになっていたようでした。研修最終日のカレッジでの課題がテクノロジーについてのプレゼンテーションをすることでしたが、何とか全員立派にやり遂げ、無事修了証書もいただきました。



修了証書授与の後  
(アビー大学の前)

今回の研修を通じて、一番印象深かったのはバディたちの存在でした。ケンブリッジ大学の大学生が常時4人、バディとして生徒の案内役をしてくれましたが、皆、非常に気さくで優しく、わかりやすい英語で積極的に話をしてくれるので、生徒も安心して会話をすることができました。また、日本で準備をしていたプレゼンテーションを発表する際には、バディが改善点等を適切にアドバイスしてくれただけでなく、即興でモデルプレゼンテーションを作り実際にその場で発表をしてくれました。さすがケンブリッジ大生！とため息が出るような素晴らしいプレゼンテーションで、生徒もかなり刺激を受けました。日本語でも難しい「平和」についてのディスカッションの際は、小グループで生徒の経験や意見を上手に引き出した後、全体で見事にまとめをしていただきました。人間的にも信頼できる彼らとの出会いは、今後生徒が自分の将来像を描く上で、大きな影響を与えてくれたと思います。



バディとのお別れ会にて

今年度もケンブリッジやオックスフォード、ロンドン市内の観光など、イギリスの歴史や文化に触れる機会に多く恵まれたプログラムでした。どこを見ても歴史を感じる建物にあふれたケンブリッジ、ハリーポッターの世界観が体験できるオックスフォード、世界屈指の規模のコレクションを無料で見せてくれる多くの博物館。訪れるたびにわくわくする観光地ばかりでした。それと同時にホストファミリーからも食文化やケンブリッジ特有の気質など、様々なことを学びました。自分たちを子ども扱いしない、という姿勢も、生徒にとっては最初はとまどいがあったものの、異文化を理解する上で貴重な経験になりました。



ロンドン研修にて  
(バッキンガム宮殿前)

ケンブリッジに着いた当初は不安な表情だった生徒たちも、研修が終わる頃には、「世界で一番わかりにくい」と言われるケンブリッジのバスを見事に乗りこなし、コミュニケーションの道具として英語を使えるようになり、そして異文化をリスペクトの気持ちで受け入れる、そのようなたくましい成長を遂げました。イギリス人からも、国泰寺の生徒は礼儀正しく素直で、やるべき時は勇気をもってチャレンジができる、と大いに褒めていただきました。そんな生徒たちを誇らしく思うとともに、このような意義深い研修に同行させていただいたことに感謝いたします。

(文責 村田直子)